

KAGAWA アンバサダーからのお便り ～町田健司さん～

昨年、台湾からは475万人が来日し、中国の838万人、韓国の754万人に次ぐ第3位で人口2350万の台湾は何と5人に1人が訪日と世界一です。

2011年3月11日の東日本大震災では200億円超と米国の175億円をしのぐ世界最高の義援金を賜りました。物価や賃金が日本の半分の台湾で、その9割以上が一般の人が給料やお小遣いから自ら進んでの寄付と知り、日本人として「謝謝台湾」（ありがとう台湾）の思いでいっぱいでした。台湾人は日本びいきで、とても親日的と言われますが、全くその通りです。

台湾の公用語は北京語ですが、80歳以上の方は50年間の日本統治時代（1895年日清戦争～1945年敗戦まで）に日本人として日本語教育を受け日本国台湾県民として育ちましたので、日本語を話され、台湾語化した日本語も多数あります。例えば、運転手はウンチャン、頭が固いのはアタマコンクリ。オバサン、オジサン、アナタ、オクサン、オゲンキカ、カンケイナイ。ダイジョウブ、カワイイ、バカヤロ、モッタイナイ等々。でも、テンブラはさつま揚げでうどんはウロン（烏龍麵）です。

台湾もうどん文化圏で台湾B級グルメ定番の牛肉麵は有名ですね。これまで私は、台湾第1号の最高位裏千家準教授萱（かや）さまの茶会において、香川で学んだ江戸千家家元直門渡辺宗喜さま仕込みのお点前披露や、台湾映画祭金賞のチュウ監督「時光之絆」で助演男優として生涯初の銀幕デビューと、日台文化交流に努めさせていただきました。

昨年は、明治21年12月に香川県が47番目最後の県として独立し130周年、香川県独立の父 中野武當氏の没後100年であり、来年2月には高松市も市政130周年と記念すべき年ですね。

今後も「心の故郷香川」の魅力を国内外で皆さまにお伝えし、文化交流を含め日台友好の架け橋になれるよう微力ですがお手伝いさせていただきます。



萱さまのお茶会で



町田健司（まちだけんじ）さん

元伊藤忠テクノメタル（株）四国支店長。

国内外で活躍する商社マン。2000年4月から3年間高松市に在住。日本の伝統芸能と文化への造詣が深く、香川県のPRに努めている。香川県でも、高松市市制施行120周年記念式典で香川県文化功労者である上方舞吉村流吉村ゆきそのさんと屋島ゆかりの「八島」を舞うなど文化活動を行っている。

◇ KAGAWA アンバサダーについて

香川の魅力を世界へ発信するとともに、本県の諸課題に対する情報提供、活動、提言等を行っていただく大使です。主に世界を舞台に活躍している香川県出身者や県にゆかりのある方で、各界から候補者の推薦を受け、識者による選考後、知事が委嘱しています。

◇ KAGAWA アンバサダーからのお便りについて

県民の方々にKAGAWAアンバサダー事業及び県の国際化の推進について、より理解を深めていただくことを目的に、世界を舞台に活躍されているKAGAWAアンバサダーの方々から在住国や御自身の活動等について御紹介いただくものです。